

第22回電脳剣士稽古会in東京 実施要領

1.会場設営(スタッフ着替えの後) 8:25~

会場設営のスタッフ(別紙)は設営図に従って会場を作成する
<ラインテープ1巻(Hide.)・メジャー(Hide.)>

2.スタッフ打ち合わせ 8:50

最終確認をしますので、放送がかかったら**スタッフ**は集合してください

3.整列 9:00(号令:Hide.)

挨拶:Hide. him

4.準備体操、素振り 9:10~(号令:ヨッコー)

ヨッコーによる素振り等終了後・・・参加者は試合場まわりに集合

5.進行の説明 9:25~(Hide.)

・防寒 着面 入場 退場 実施要領他

- 1)各組ごと、3つ前の組がはじまったらかかり手待機場所で面を着け準備を行う
(同じ会場の**スタッフ**は次の組が準備できているか必ず確認のこと)
- 2)呼び出しに赤白両選手の名前が呼ばれたら一緒に試合場に入り、元立ちと相互の立礼を行う
- 3)まず、赤の選手が切返しを行い、次いで白の選手が行なう
- 4)切返しは、正面(体当たり)、前進4本後退5本、正面(打ち抜け残心)とする
- 5)立会人の「判定します」の号令で、選手はステージ側を向き「判定」で審判員は移動する
※審判員は、かかり手待機場所にいる3組(6人)と次の元立ち以外の全員です
- 6)立会人は人数を確認し、「向かい合って」の号令で選手は元立ちに向かって構えます
※赤白同数の場合立会人は、審判長に勝敗を一任(確認)する
- 7)立会人が勝った選手の旗を上げ「勝負あり」と宣告。選手元立ちは蹲踞し立礼を行なう
- 8)試合を終えた選手は待機場所で速やかに脱面し、審判員に加わる
- 9)第1試合、決勝戦の最初と最後のみ、元立ちかかり手とも上席の礼を行う

6.切返し選手権試合開始 9:45

呼出しは「赤***選手 白@@@選手」とする
(呼出し組み合わせに書かれているハンドルネームを呼ぶ)

選手誘導係は次の組の準備を促す

7.回り稽古 11:25~ 2分10回

東西方向に2人組で4列を作る(それぞれの列は10組ほどになる)

(**スタッフ**は、小中学生を連れて組を作る)

輪転したときに、子ども相手が続かないよう左右を確認し適宜入れ替わる

8.自由稽古 11:50~13:00

会場の中央を「元立ち側」として、かかる人はステージ側と校庭側に並ぶ
段位・年齢に関わらず「お願いされた人が元立ち」となる

9.整列、挨拶、記念撮影 13:10(号令:Hide.)

挨拶:Hide. him

記念撮影:ステージ前に整列(**スタッフ**は速やかに整列を促す)

<カメラ・三脚(Hide.)>

10.撤収・清掃

スタッフは速やかに自身の片づけを済ませ、撤収作業と清掃を行う

<最終確認:Koji>